

七桂組立法

第四編
水月之卷

七桂組立法 第四編 水月之部

水月桂に對し(四)の來る所一より廿一迄を示す

十一二三四
五六七八
九〇十二三
三十四五十六
七十八九二一

注意 他(た)の珠形(しゆけい)又は珠順(しゆじゆん)と同一(どうい)又は略同様(りやくどうよう)に戻る分(ぶん)は省(はぶ)く、(六)の變化(へんか)を

多く示(おし)さる分(ぶん)は打方容易(うちかたようい)なる者と知るべし

此組立法(このくみりつぽう)は前編(ぜんぺん)と共通(きゆうこう)する者(もの)なれば全編完備(ぜんぺんかんぺい)の必要(ひつよう)あり

組立法(くみりつぽう)は(四)に對する(五)に對する(六)に對する(七)迄の攻守手段(こうしゆしゆだん)を示したる者(もの)なり

第一章 (四)の第一番

(五)に對し(六)の來る所一より十迄

十一二三
四五六
七七八
九

(六)の一
五二四
一六三
七

(六)の二

五二四
一六七
三六

(六)の三

五二四
一六三
七六

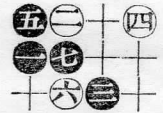
(六)の四

五二四
一六三
七

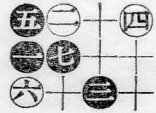
(六)の五

五二四
一六三
七

六の六



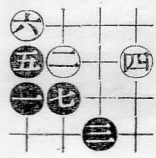
六の七



六の八



六の九



六の十



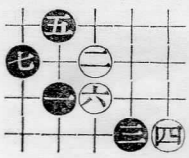
第二章 四の第二番
第三編と同一



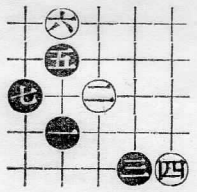
三

四

六の三

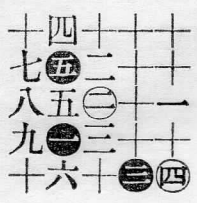


六の四

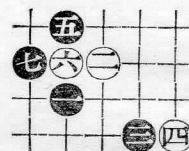


第三章 四の第三番

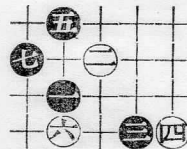
五に對し 六の來る
所一より九



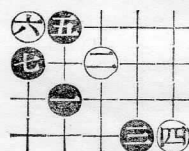
六の五



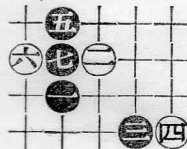
六の六



六の七



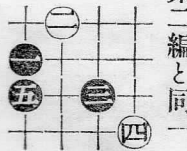
六の八



六の九

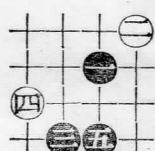


第四章 四の第四番
第二編と同一



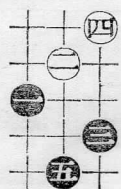
五

六



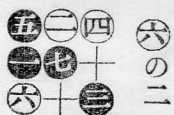
第五章 四の第五番

第三編と同一



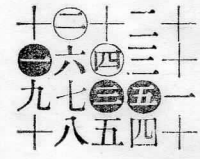
第六章 四の第六番

六の来る所一より二

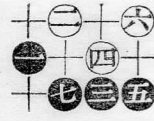


第七章 四の第七番

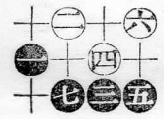
六の来る所一より九



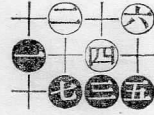
六の一



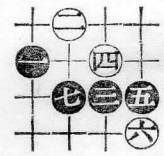
六の二



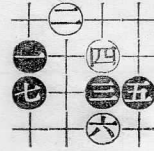
六の三



六の四



六の五

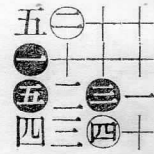


七

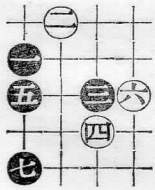
八

第八章 四の第八番

六の来る所一より五



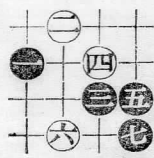
六の一



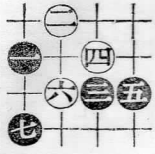
六の九



六の八



六の七



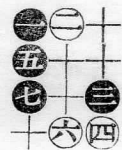
六の六



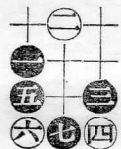
六の二



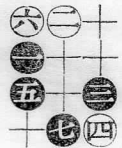
六の三



六の四



六の五

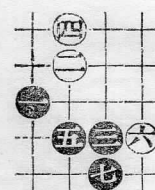


第九章 四の第九番

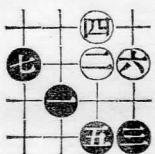
六の来る所一より七



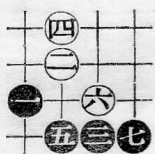
六の一



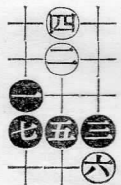
六の二



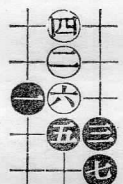
六の三



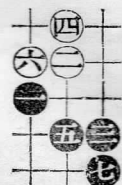
六の四



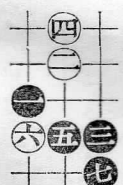
六の五



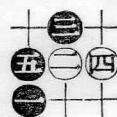
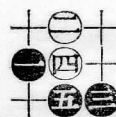
六の六



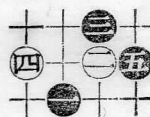
六の七



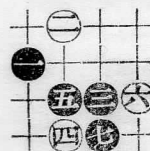
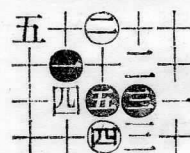
第十章 ④の第十番
第一編と同一



第十一章 ④の第十二番
第二編と同一

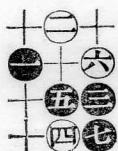


第十二章 ④の第十三番
⑥の来る所一より五

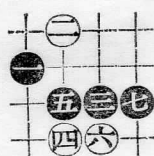


十一

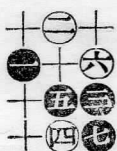
⑥の二



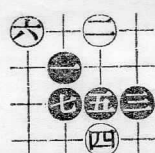
⑥の三



⑥の四



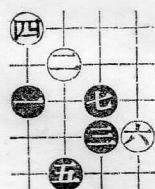
⑥の五



第十三章 ④の第十三番
⑥の来る所一より六



⑥の一



十二

六の二

六の一

六の四

六の三

六の六

六の五

十四

六の三

六の二

六の五

六の四

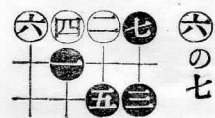
六の六

第十四章 四の第十四番

六の来る所一より九

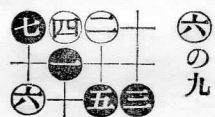
六の六

十三



六の七

六の八



六の九

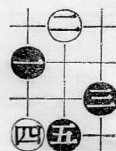
第十五章 四の第十五番

第一編と同一



第十六章 四の第十六番

第三編と同一



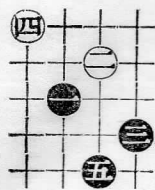
十五

十六



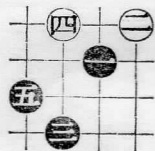
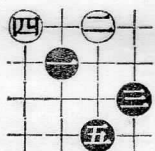
第十七章 四の第十七番

第三編と同一



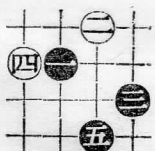
第十八章 四の第十六番

第二編と同一



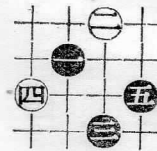
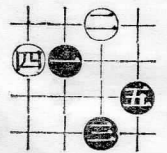
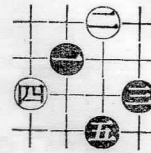
第十九章 四の第十九番

第三編と同一



七桂組立法水月之卷終

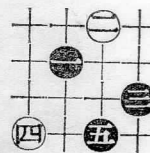
第二十番 ④の第廿番
第三編と同一



第廿一番

④の第廿一番

本局は④緩き故⑤迄
にて組立を示すの要な
き故略す

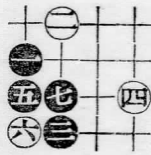


十七

十八

本編に就て⑦迄にては物足らぬ感あるは勿論なるも⑧を示さば更に
⑨を示さる可かず然らば殆んど一切の打揚を示す事となりて研究
せしむる材料とならず故に省く

訂正 第三編第三章⑥の二試は左の如く改む



變化は同編第五章と大差なし

大正四年一月一日初版印刷
大正四年一月二日初版發行
昭和三年三月十五日四版印刷
昭和三年三月十六日四版發行

第四編

定價參拾五錢



著者 三 上 雄 石

東京市京橋區銀座貳丁目十番地
大 野 慶 吉

印刷者 萬 歲 館 印刷 部

東京市京橋區銀座貳丁目十番地

發行所 大 野 萬 歲 館

電話 京橋五二〇二番
振替東京一八八九〇番